

名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議（第3回）会議メモ

日時 令和3年12月25日（土）10:00～12:45
 場所 名古屋城本丸御殿孔雀之間
 参加者 座長：丸山
 構成員：千田、宮武、麓、三浦、西形、小野
 設計者：
 発注者支援：
 事務局：佐治、村木、荒井、荒川

荒井主幹	・開会のあいさつ
佐治所長	<p>天守閣の復元事業でございますが、11月に議会がありまして、その中で、文化庁の助言を踏まえて、令和4年度末までに基礎構造、バリアフリー、石垣の保存の各方針を取りまとめて、復元計画を作るという形で表明をしているところでございます。それを取りまとめた上で、令和5年度の早い段階から復元検討委員会で議論して頂くと、表明しているところでございます。そのためにも、基礎構造につきまして、先生方のお力添えを頂きまして、何としてでも令和4年度末までに取りまとめをしたいと考えておりますので、引き続き御助力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題、大・小天守の穴蔵石垣調査、これまでの調査結果をまとめて御報告した上で、現地で御確認いただきたいと思います。</p> <p>もうひとつ、今後の調査ということで、全体会議でも話題になったことですが、石垣の背面調査をやっていく必要があるということでございます。今、予算編成の渦中にごさしまして、来年度の予算を確保する、しっかり予算を確保した上で調査をすると思っておりますので、現時点での調査の考え方を議論いただきまして、現地でどこを調査すべきかも、御議論いただきたい。</p>
荒井主幹	<p>・出席者紹介。</p> <p>本日の会議は基礎構造検討に係る情報交換を目的としておりまして、ワーキングと同様の位置付けとしておりまして、非公開の開催とさせていただきます。そのため会議の中で出された意見、資料など情報の取り扱いには御配慮をお願いいたします。</p> <p>・資料確認。</p> <p>本日の会議の流れ。まず資料の説明をさせて頂いて、御意見をたまわりたい。その後に穴蔵に移動しまして現地を見て頂きたい。本日は現地視察をメインと考えておりますので、時間を長くとりたい、資料説明は簡単に行いたいと思います。現場を見ていただいた後に、再びここに集まっていただき閉会とさせていただきます。目標としては2時間でまとめたいと思っております。</p>
丸山座長	現場での意見交換の方が意義があると思っておりますので、よろしくお願いします。
村木副センター長	・資料1説明（天守台穴蔵石垣試掘調査（中間報告））。
村木副センター長	
村木副センター長	
村木副センター長	
丸山座長	現地で時間を取りたいので、次の説明を。
荒井主幹	<p>調整会議においては、基礎構造の検討という視点で意見を頂きたい。石垣・埋蔵文化財部会にも諮り、その後全体整備検討会議で確定する。そして調査実施に向けて現状変更許可申請という流れです。</p> <p>・資料2説明（今後の調査について）。</p>

名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議（第3回）

日時：令和3年12月25日(土)10:00～

場所：本丸御殿孔雀之間

会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- ・ 大小天守の穴蔵石垣試掘調査について
- ・ 今後の調査について

4 現地視察

- ・ 穴蔵石垣

5 閉 会

名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議（第3回）

参加者名簿

■構成員及び座長

(敬称略)

氏名	所属	備考
千田 嘉博	石垣・埋蔵文化財部会	石垣等遺構の保存及び史実に忠実な復元の検討
宮武 正登	石垣・埋蔵文化財部会	
麓 和善	天守閣部会	
三浦 正幸	天守閣部会	
西形 達明	石垣・埋蔵文化財部会、天守閣部会	工学的検討（石垣構造）
小野 徹郎	天守閣部会	工学的検討（建築構造）
丸山 宏	全体整備検討会議	座長

■設計者

(敬称略)

氏名	所属	備考
	(株)竹中工務店名古屋支店	設計担当（史跡整備）
	(株)竹中工務店名古屋支店	設計担当（構造設計）
	(株)竹中工務店名古屋支店	設計担当（石垣）

■発注者支援

(敬称略)

氏名	所属	備考
	(株)安井建築設計事務所	発注者支援

■事務局

(敬称略)

氏名	所属	備考
佐治 独歩	名古屋城総合事務所	所長
村木 誠	名古屋城総合事務所調査研究センター	副所長
荒川 宏	名古屋城総合事務所	主幹
荒井 敦徳	名古屋城総合事務所	主幹

調整会議（第3回） 資料一覧

No.	資料名
資料1	・天守台穴蔵石垣試掘調査（中間報告）
資料2	・今後の調査について

天守台穴蔵石垣試掘調査 中間報告

20211225 調整会議資料

1 調査について

(1) 調査期間

2021年11月25日～（現在実施中）

(2) 調査の状況

天守台穴蔵石垣周辺における近世遺構の状況を確認するため、図1のとおり9か所トレンチを設定した（今年度調査は、⑨を除く8か所）。現在は、大天守側4か所（①～④）、小天守1か所（⑧）の調査を行っている。なお、小天守の⑥調査区については床下に厚いコンクリート基礎があり掘削が困難であるため調査の実施が困難である。

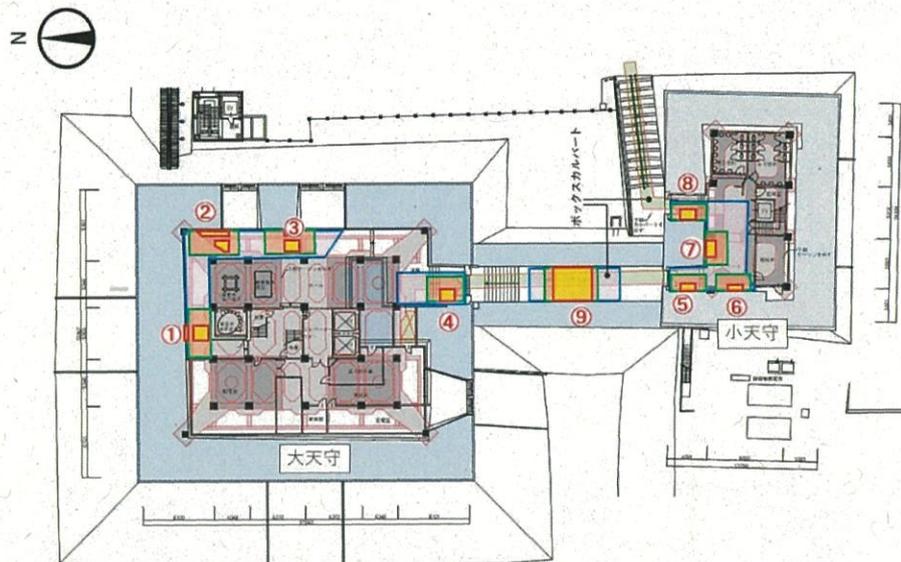
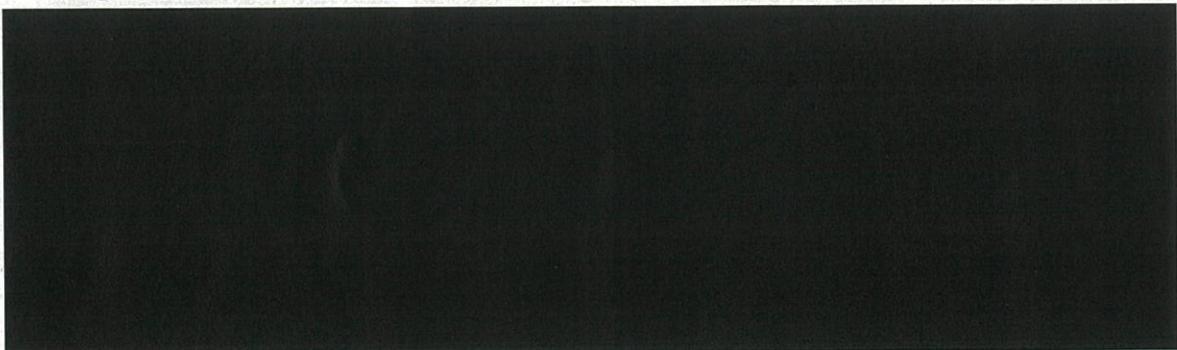
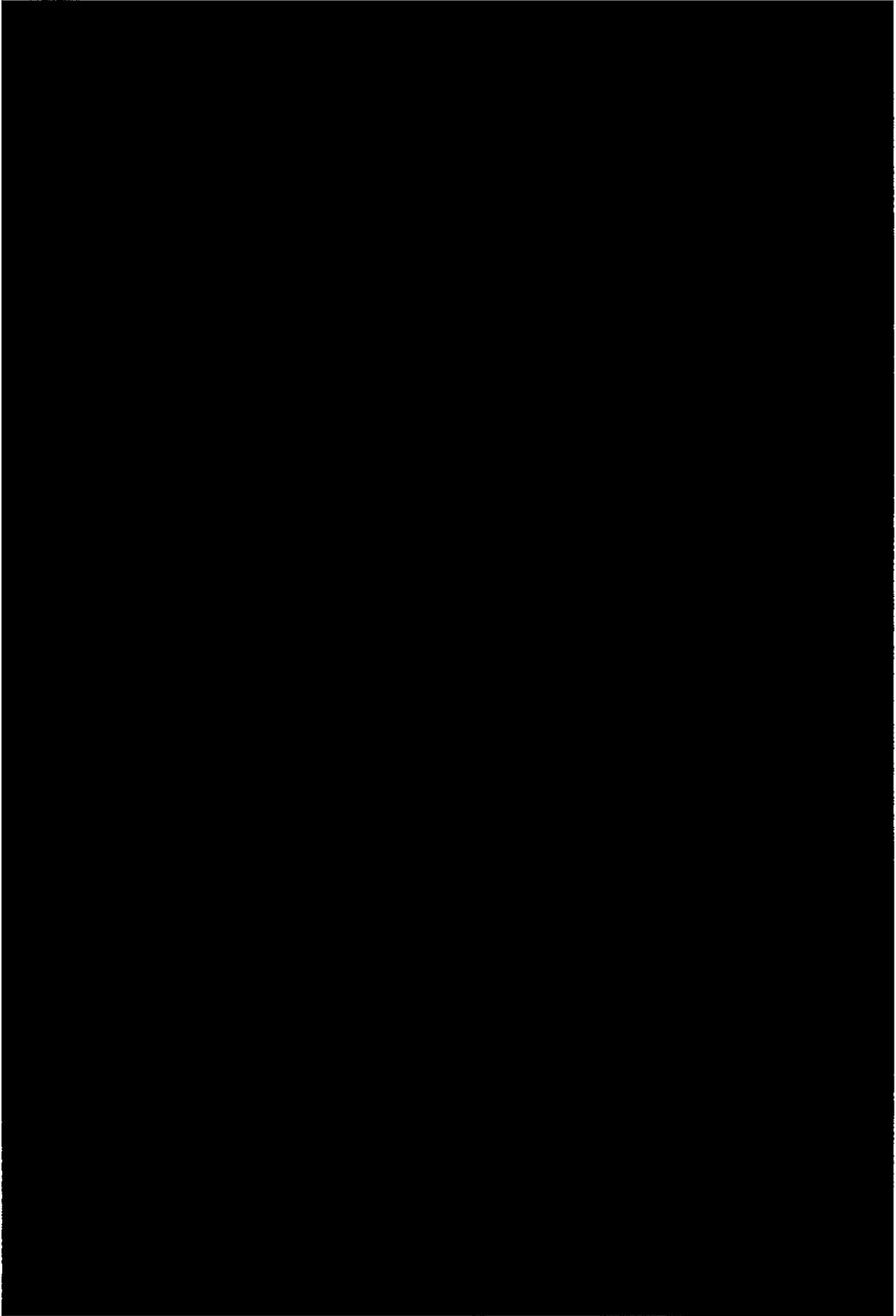
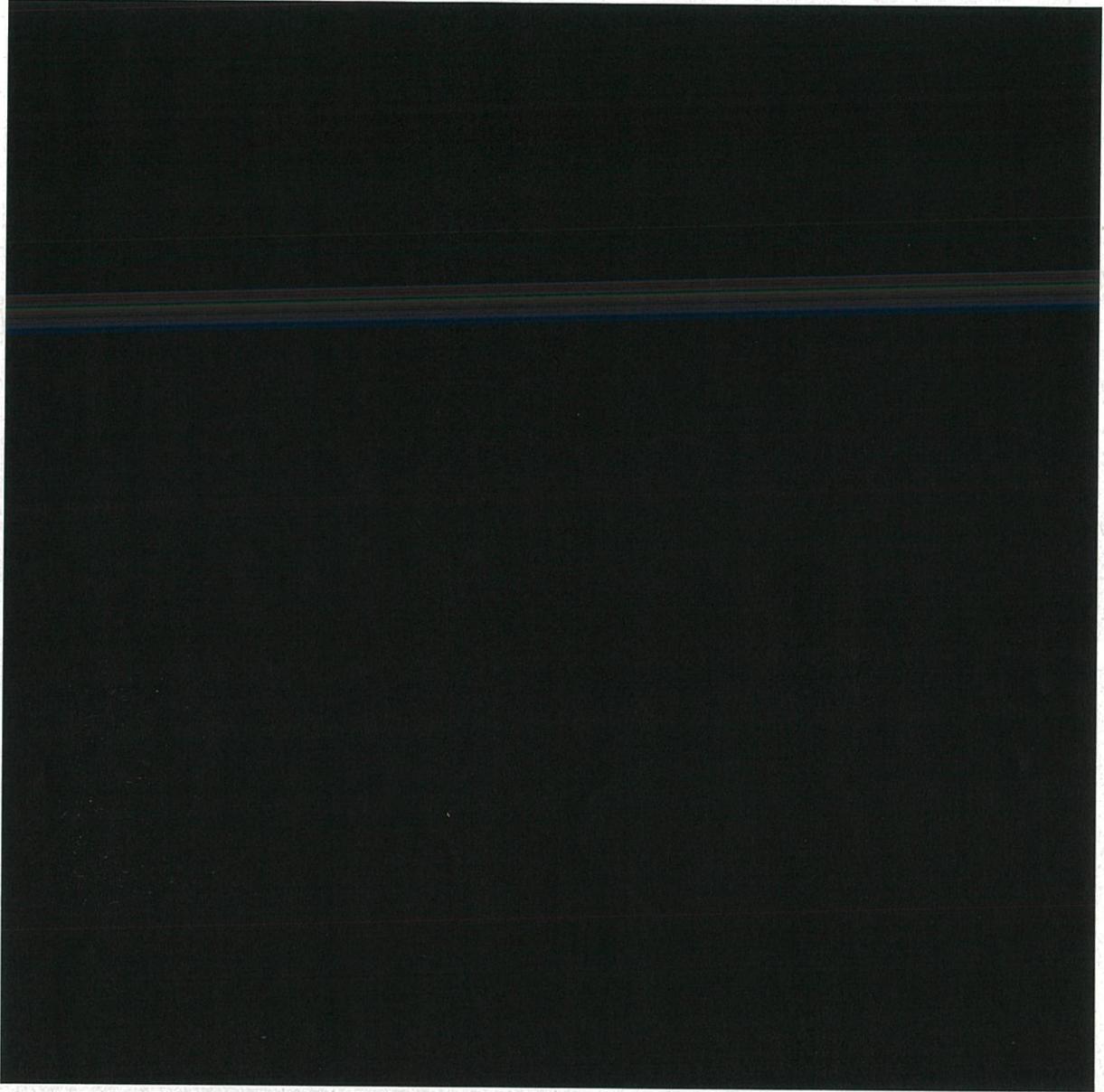


図 1 穴蔵試掘調査箇所位置図

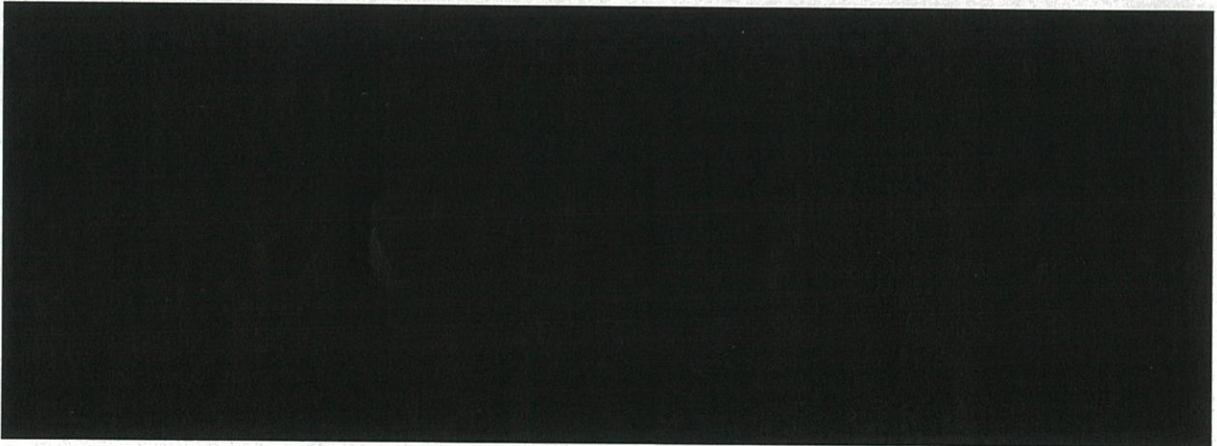
2 ①調査区

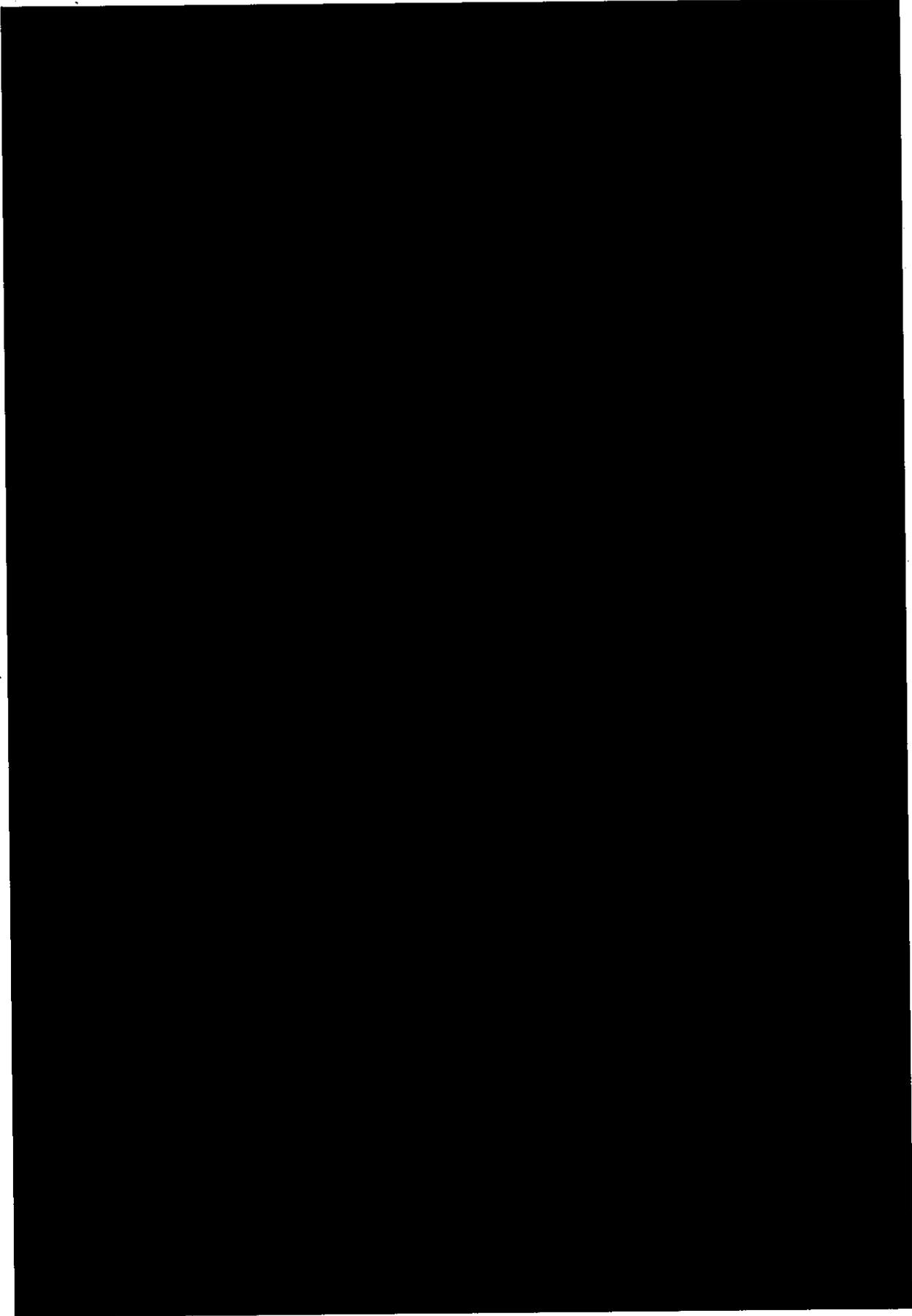


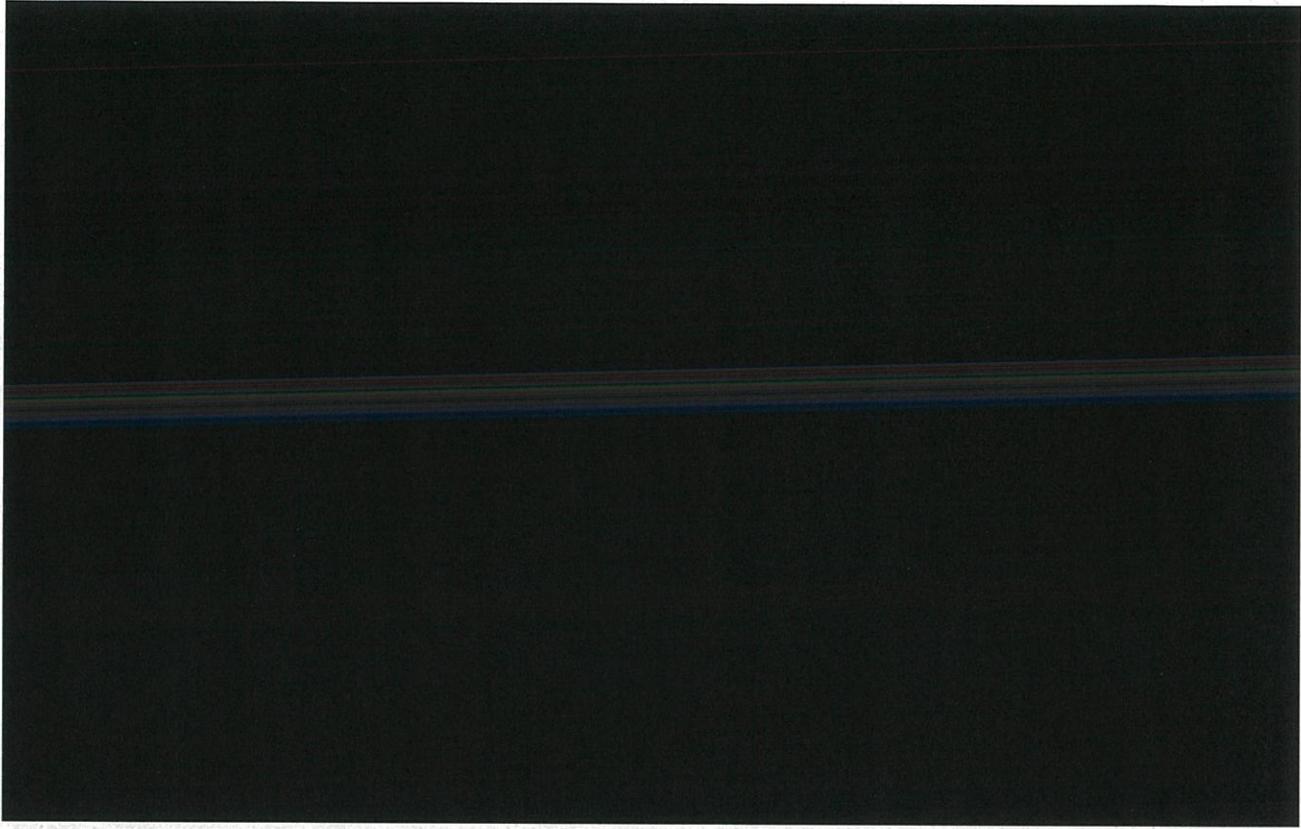




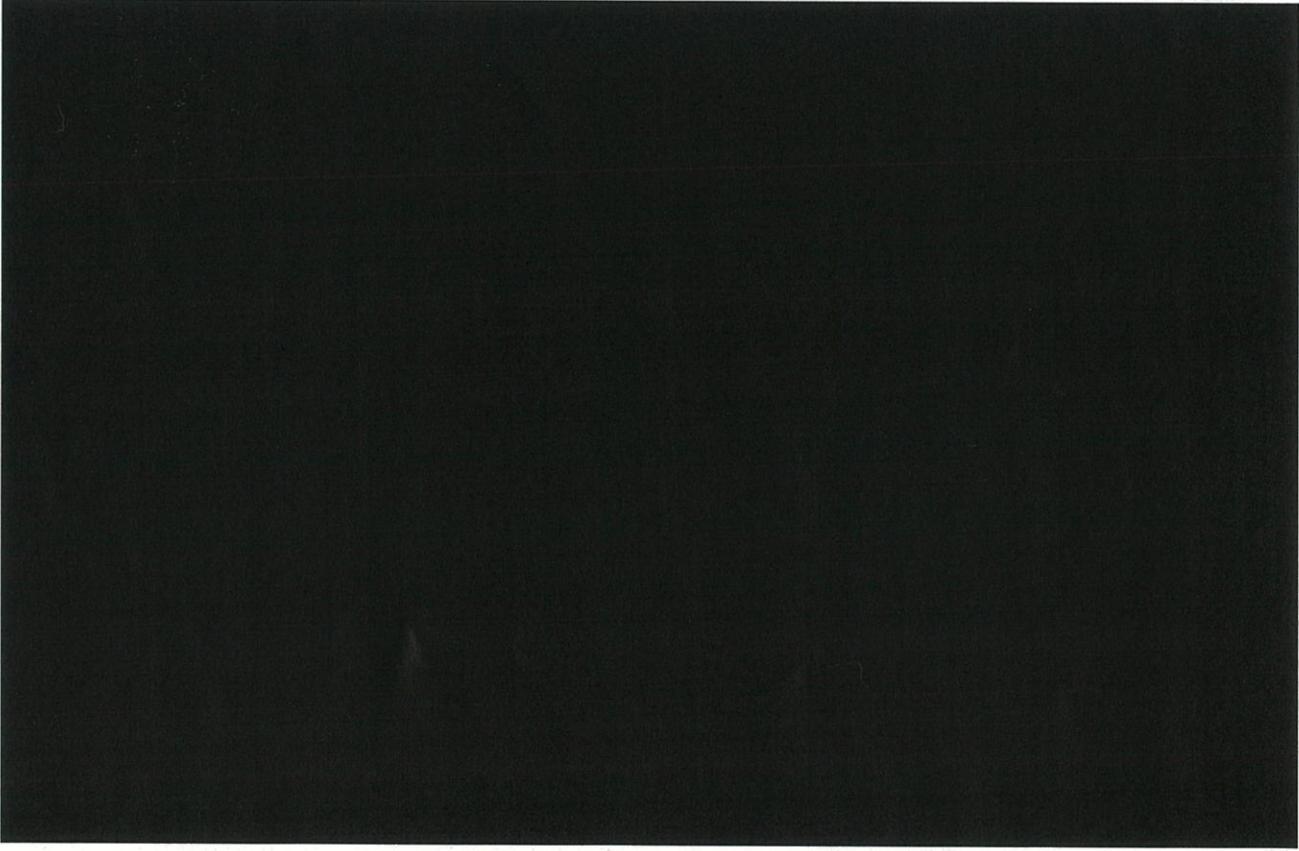
3 . ②調査区

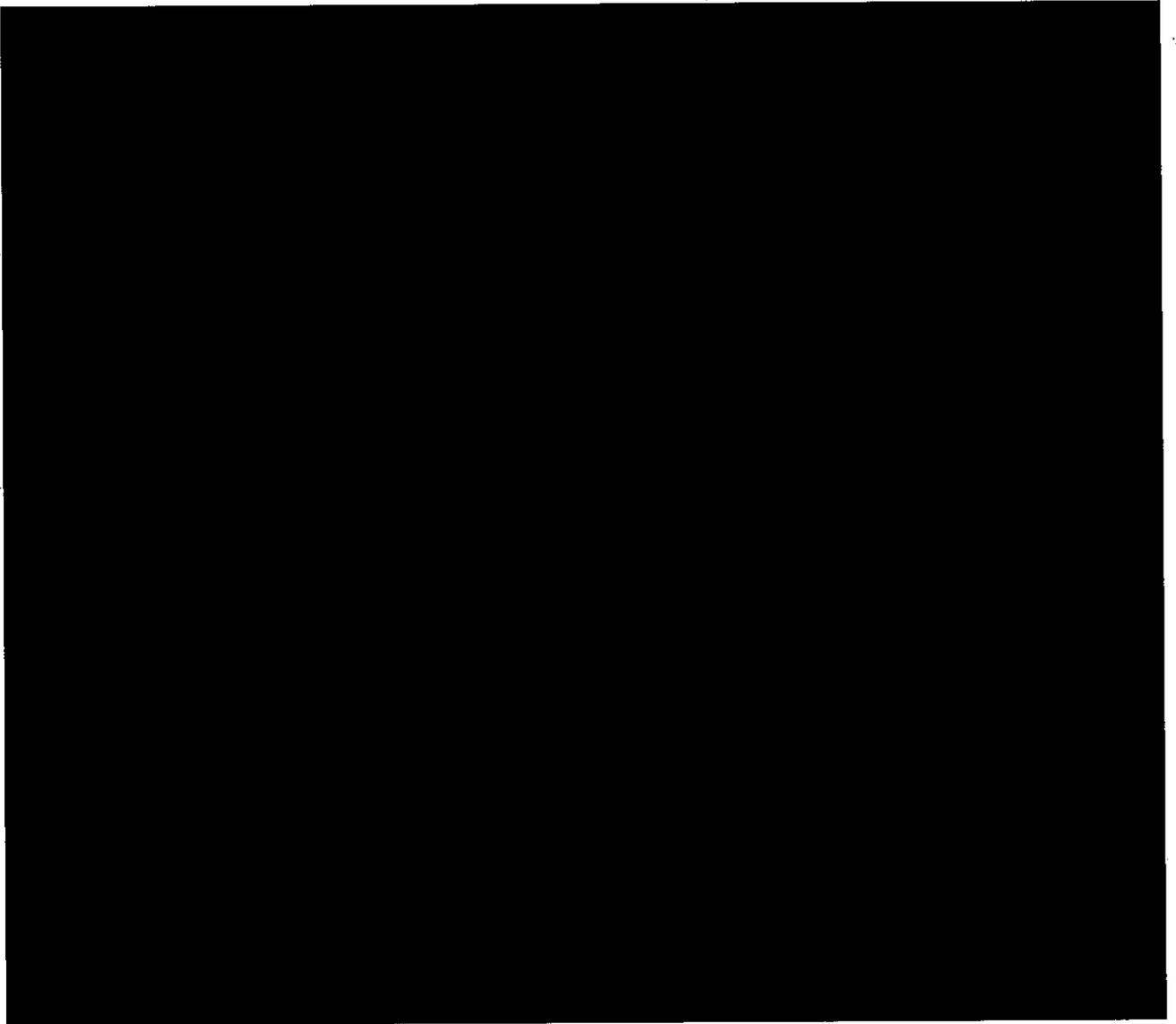




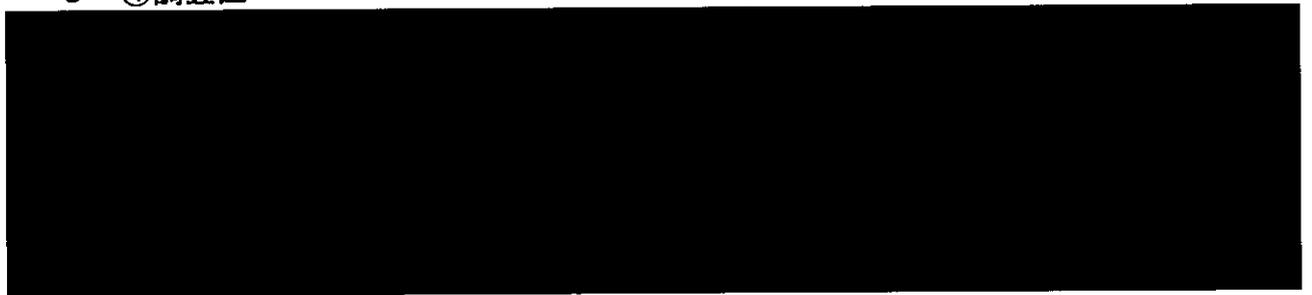


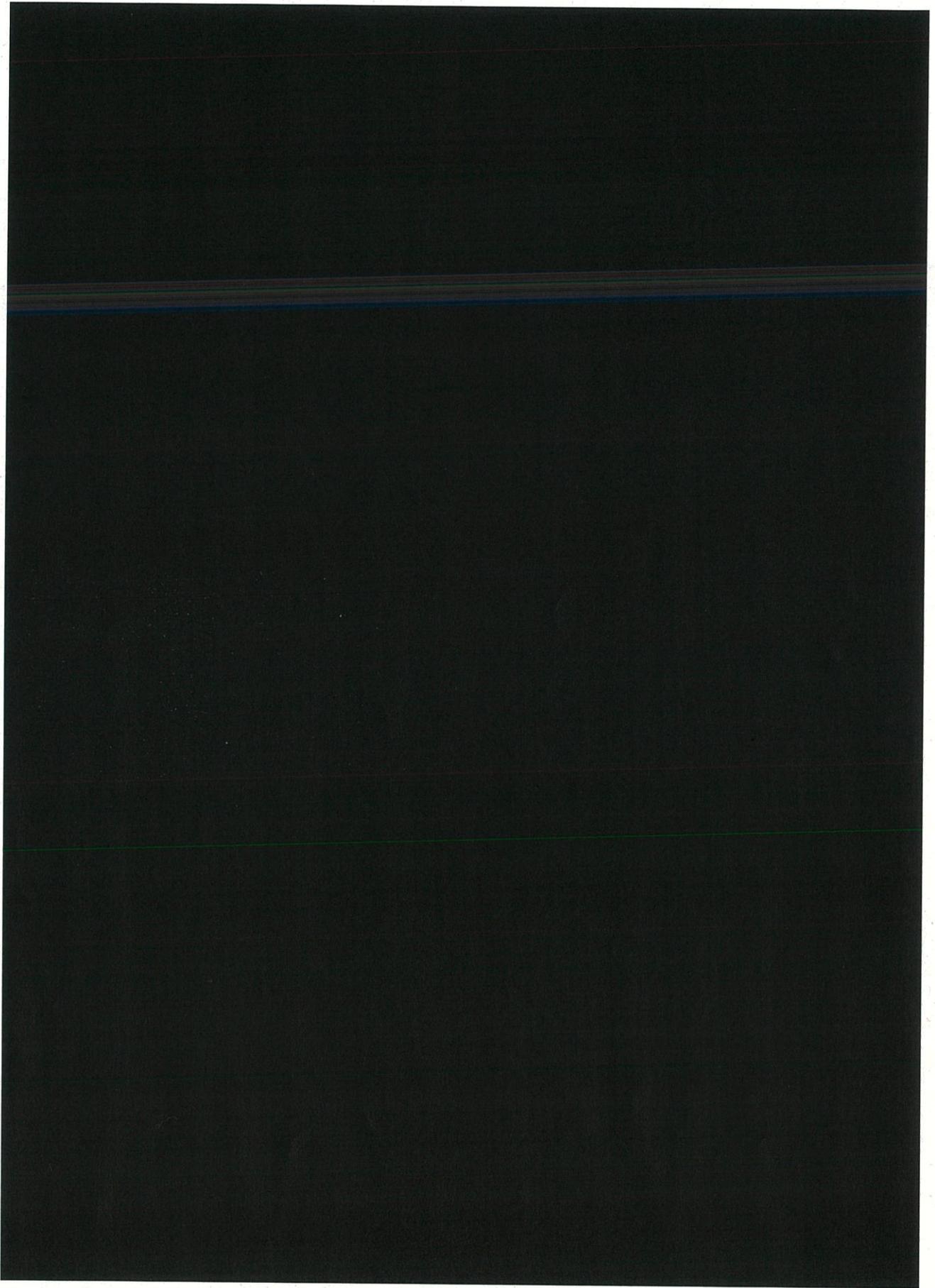
4 ③調査区

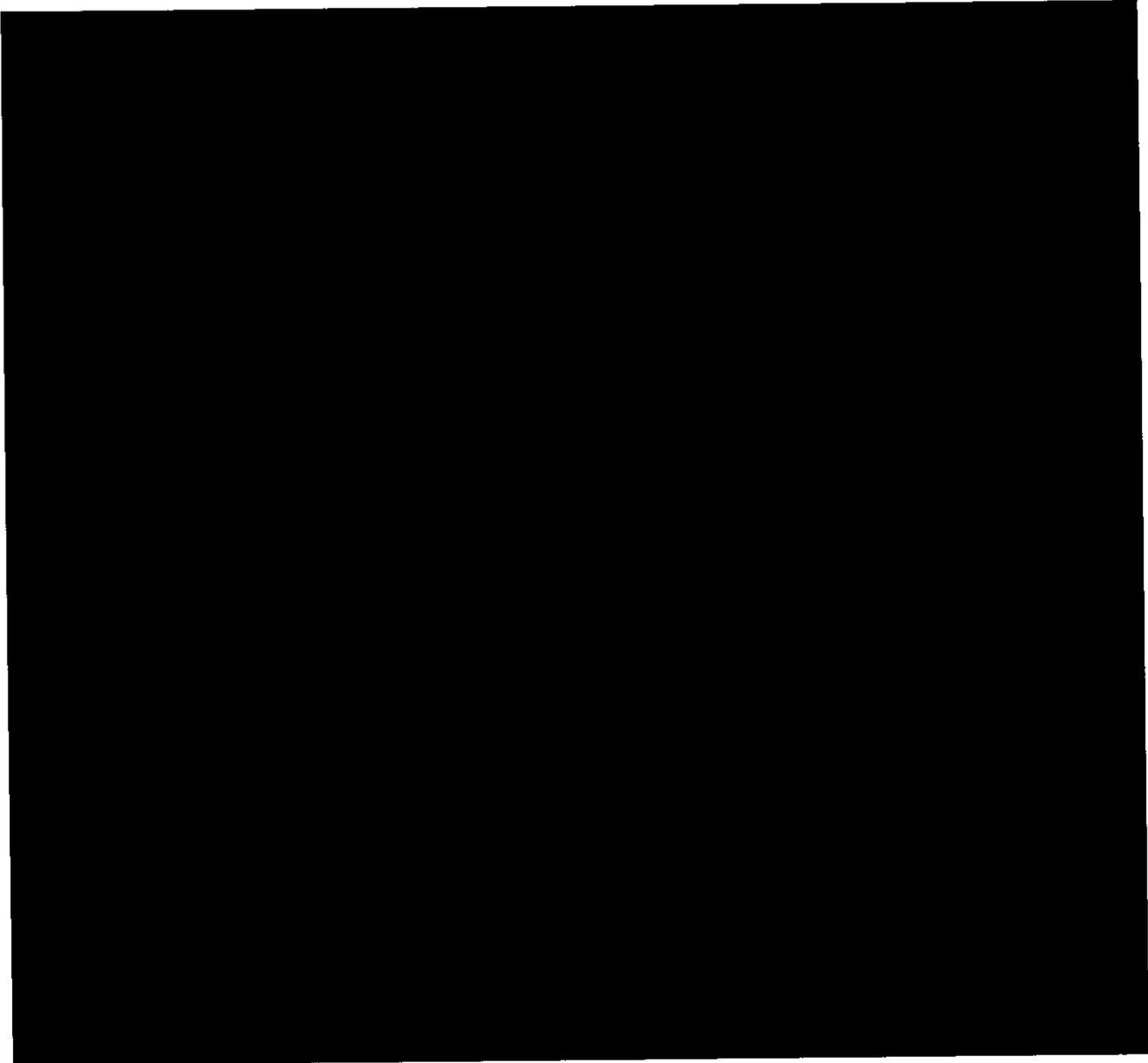




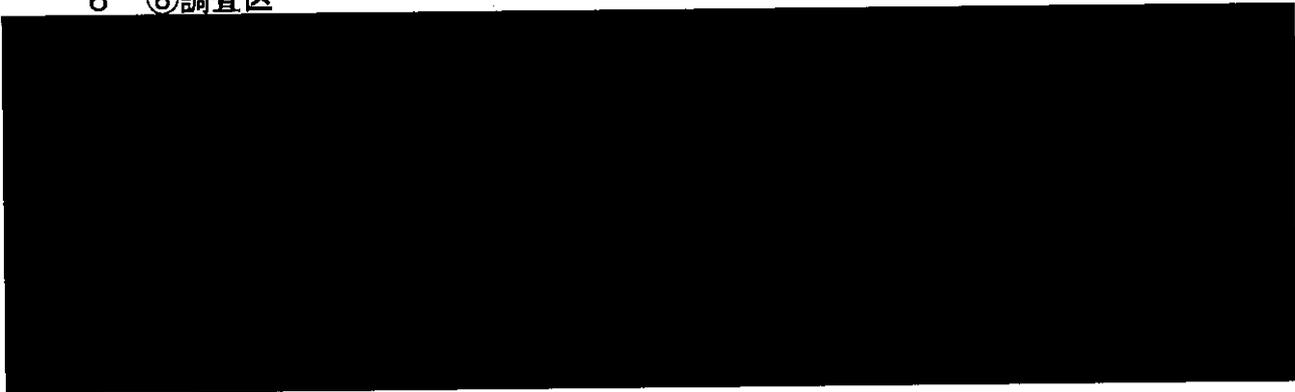
5 ④調査区

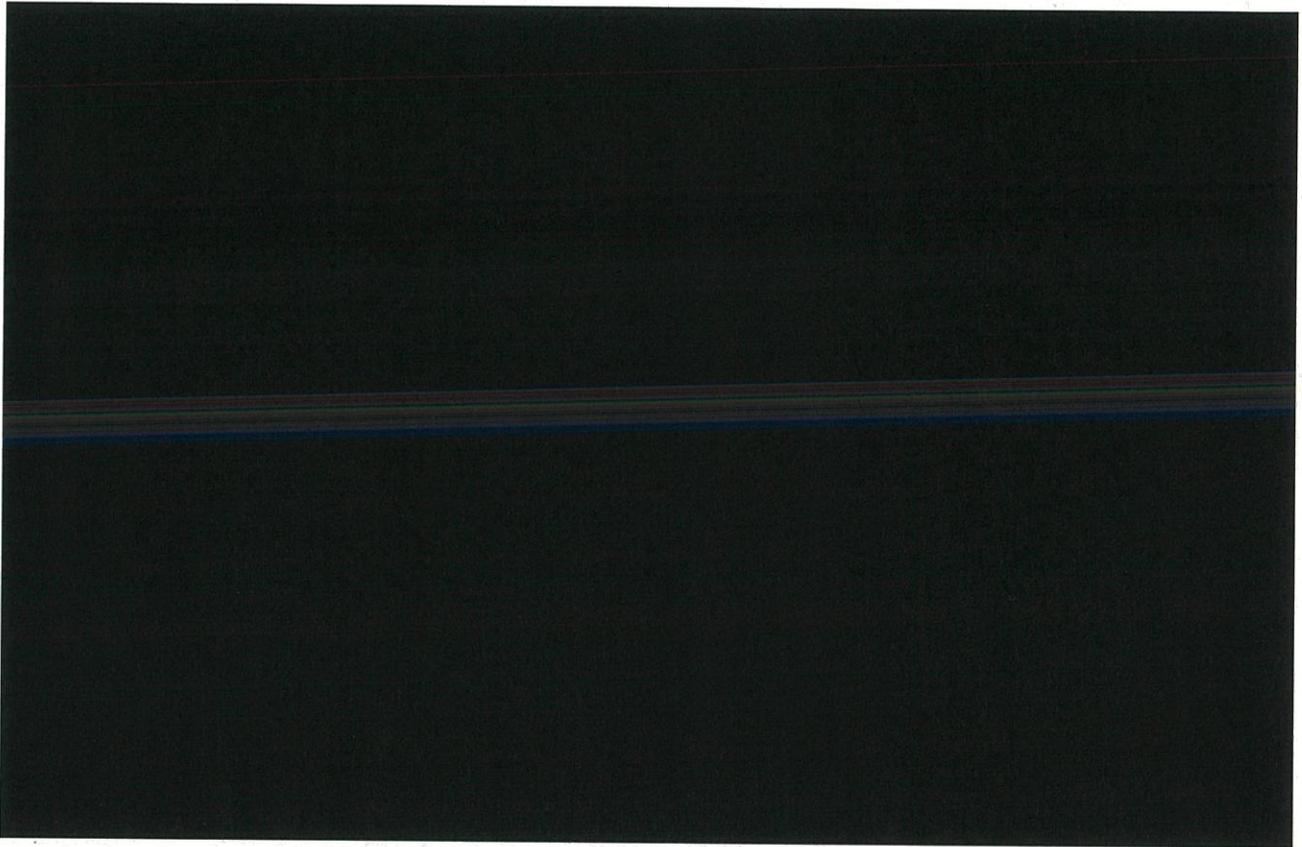




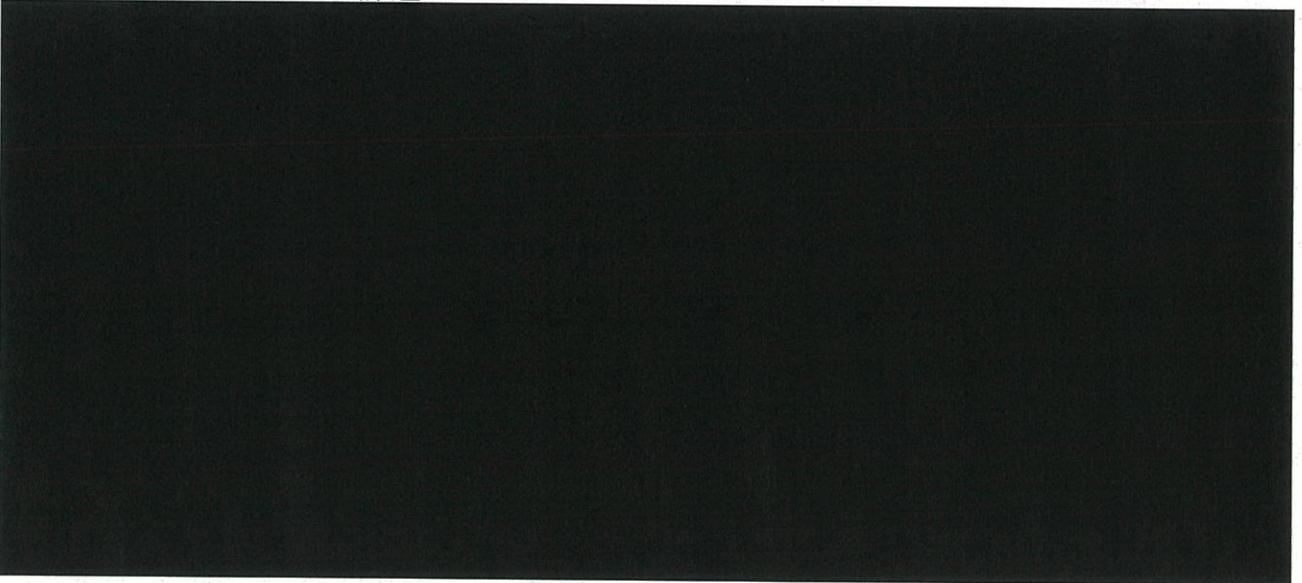


6 ⑧調査区





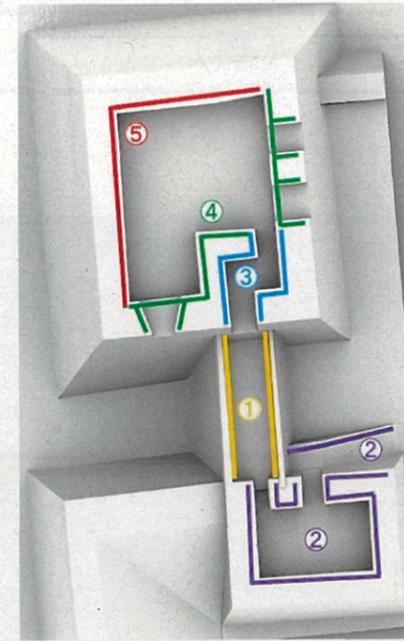
7 調査のまとめと課題



今後の調査について（穴蔵石垣背面調査）

調査の目的

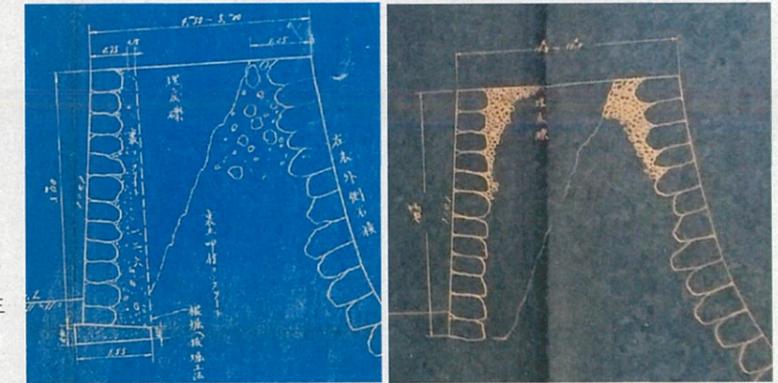
- 穴蔵石垣は戦後の積直し工事及び現天守閣再建の際に大幅に改変されており、特に中央部は、現天守閣再建によるケーソン基礎の設置により、江戸期の地階遺構は残っていない。外周部についても現況調査から、地上部分の大半は改変を受けていると判断されるが、根石周囲及び背面の地下遺構にはこれらの改変が及んでいない可能性もあり、その残存状況及び安定状況については、現状把握できていない。
- 穴蔵石垣背面調査は、今後の整備・修復のために、石垣背面の地下遺構の残存状況及び安定状況、戦後の工事での改変状況を把握するためのものである。
- 一方で、木造天守の基礎構造の考え方として、「江戸期からの姿を残す文化財である天守台本来の遺構には新たに手を加えないことを原則とし、その上で可能な限り史実に忠実な復元を行う」こととしており、穴蔵石垣背面調査による現状把握の結果を踏まえて検討する必要がある。
- 今回の穴蔵石垣背面調査では、これまでの現況調査や写真・歴史資料の調査結果を踏まえ、また現天守閣への影響を考慮した上で、遺構の保存にも配慮しながら、後の基礎構造の検討の際にも活かせるよう、より効果のある位置で調査を行いたい。



昭和27(1952)年～昭和31(1957)年の石垣積換工事
(色分けは右上表と対応)

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
1951年	1952年	1953年	1954年	1955年	1956年	1957年	1958年	1959年	1960年
①	②	③	④	⑤					

計画図面：裏コンクリートあり
 ←←←←←
 計画図面：裏コンクリートなし
 ←←



計画図(裏コンクリートあり) 計画図(裏コンクリートなし)

昭和27～31年度の「内部石垣積換工事」の計画図

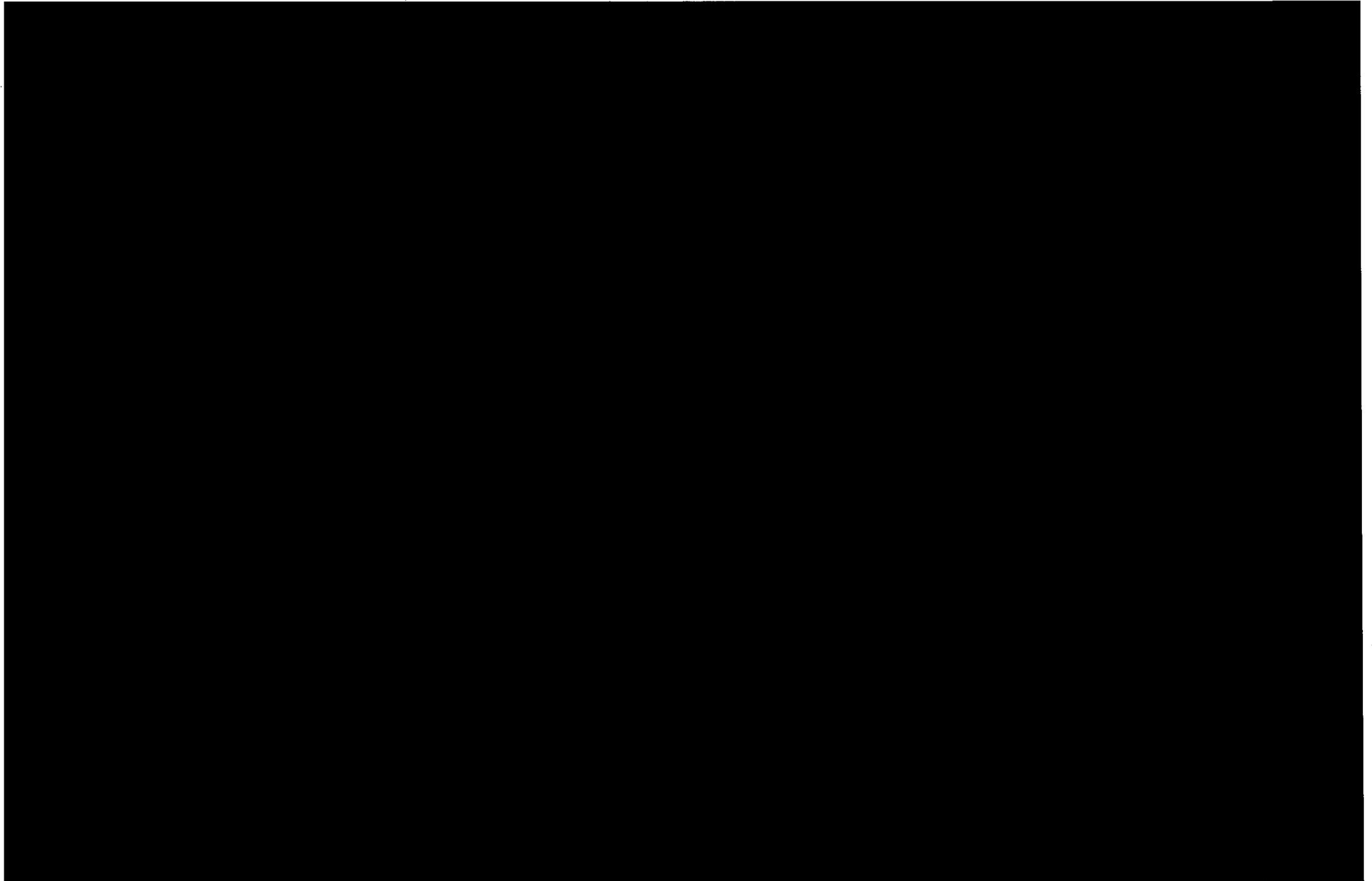
調査位置選定の考え方

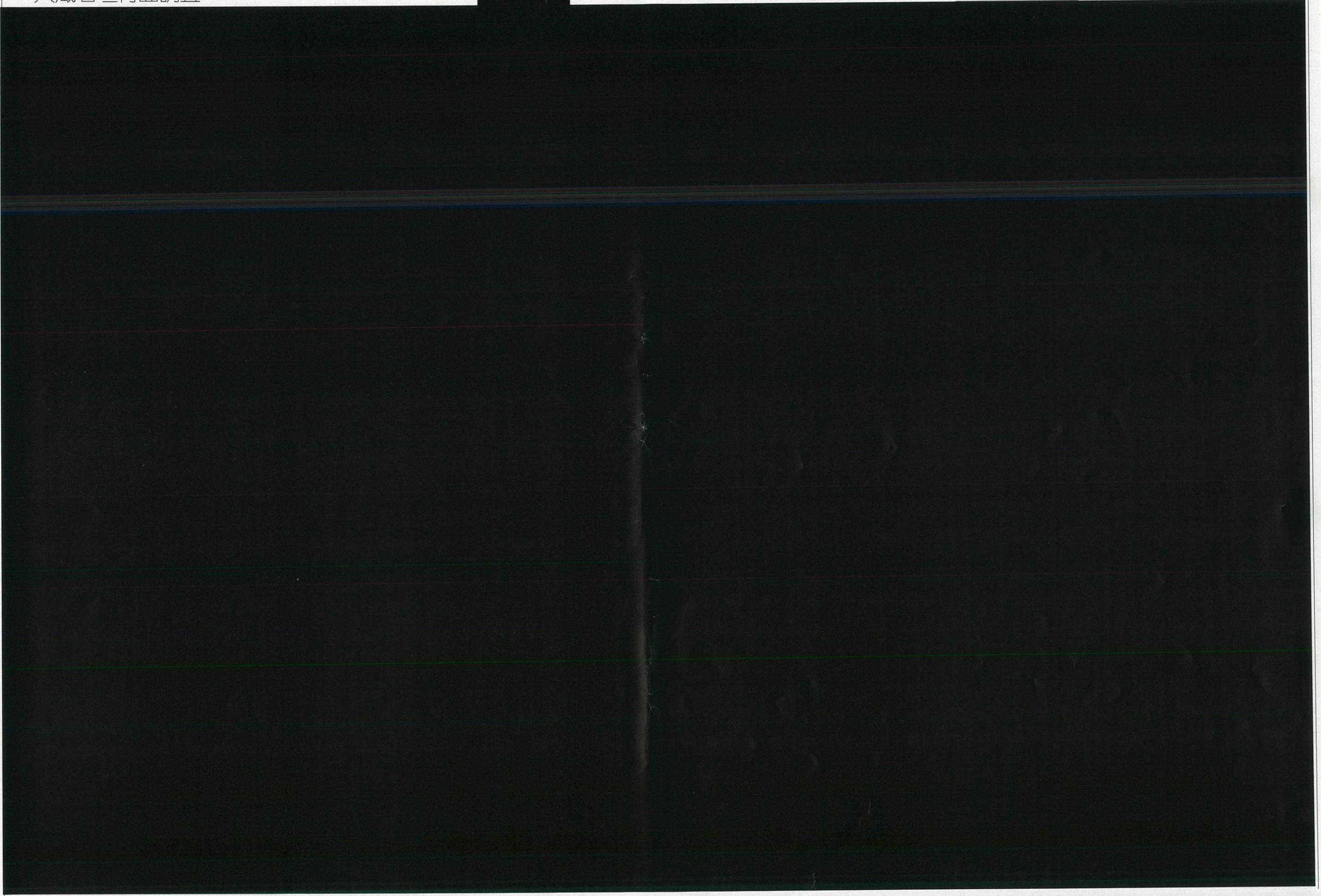
図9 5回に分けて施工された積み替え工事

		調査目的
		調査目的
A	遺構の 残存状況の確認	
B	石垣の安定状況及び戦後の 改変状況の確認	

穴蔵石垣背面調査位置 (案)

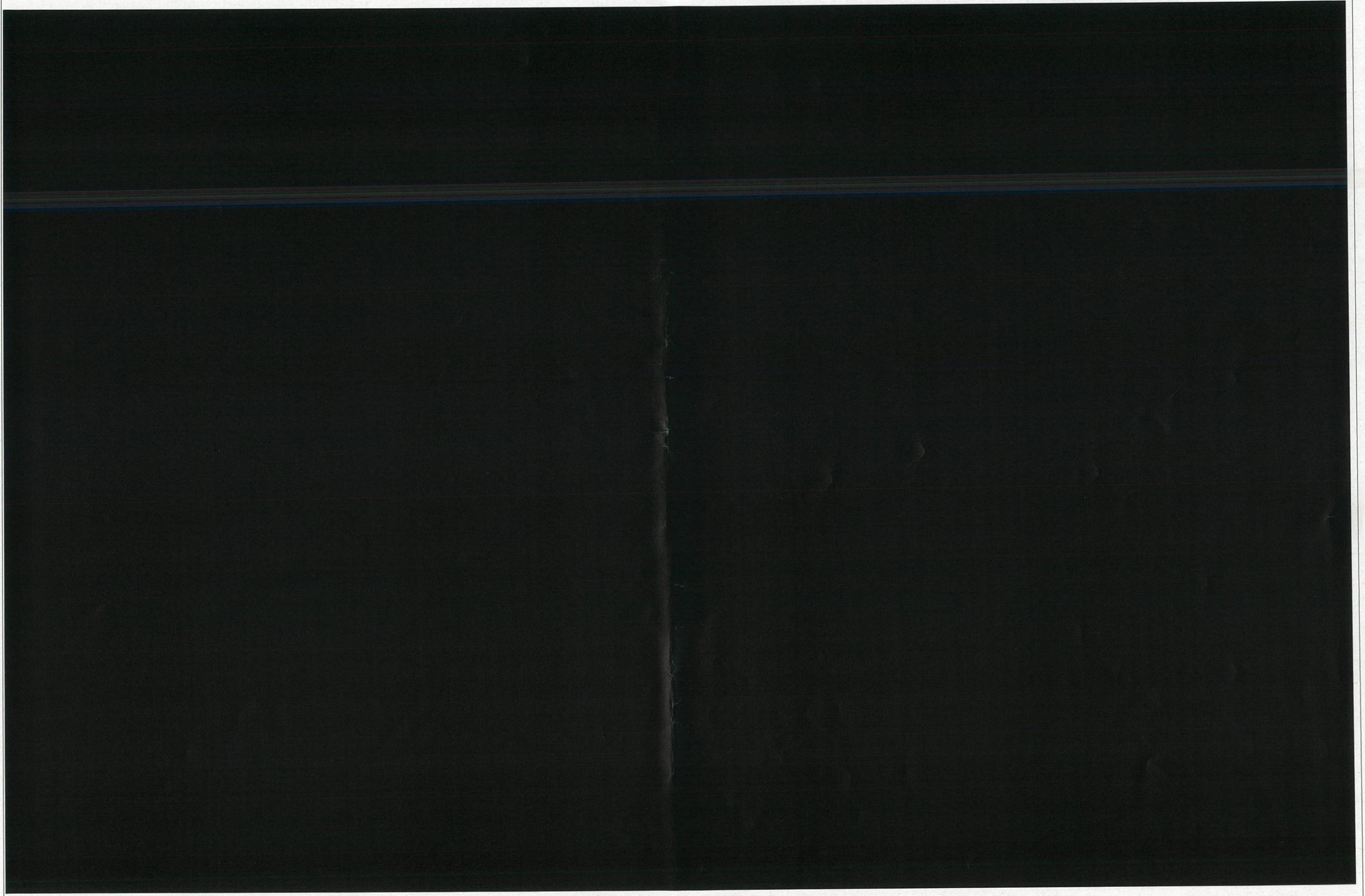
調査位置 (案)







穴蔵石垣背面調査



穴蔵石垣の昭和27年~34年の積直しの履歴

昭和27~31年の積換え工事と昭和32~34年SRC天守閣再建工事での攪乱の推定範囲

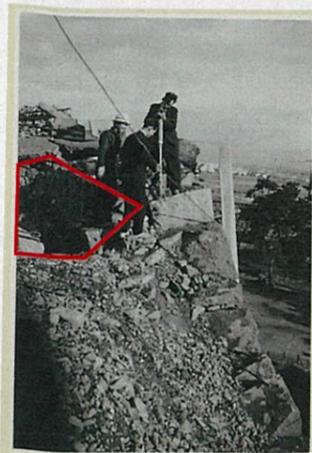


写真89 大天守北面(東側)

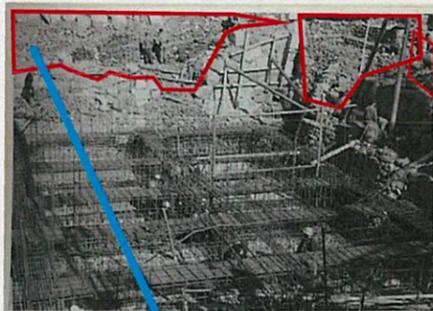
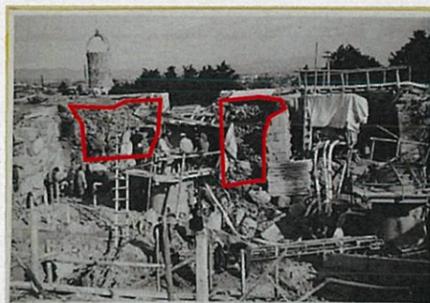


写真87 大天守北東隅



『名古屋城改築工程写真 其一』 6-2 大天守北東隅

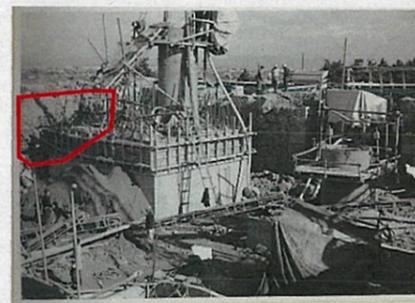


写真61 大天守北東隅

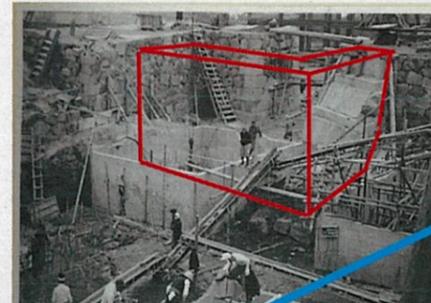


写真85 大天守南東隅

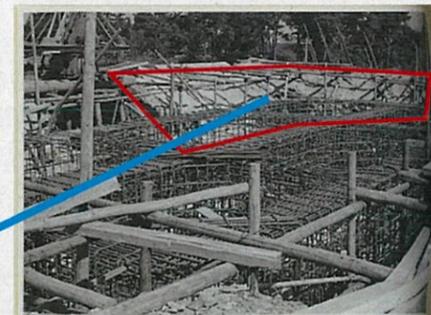


写真66 小天守北東隅

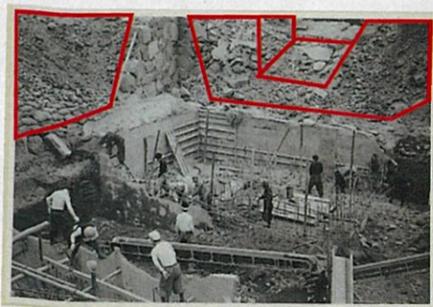


写真83 大天守北東隅

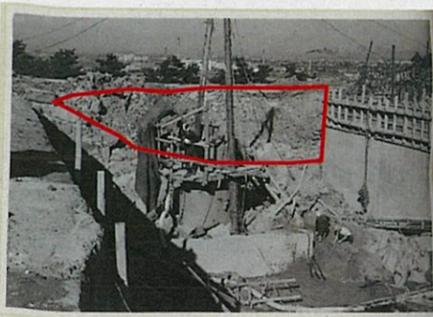


写真60 大天守北面(西側)

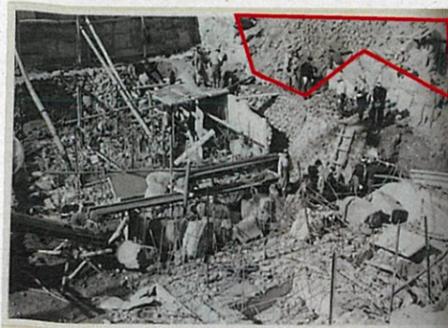


写真84 大天守北西隅

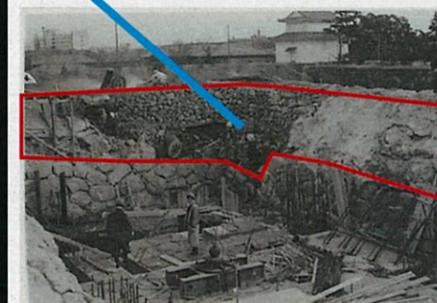
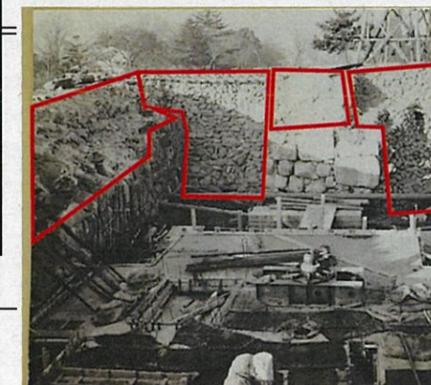


写真81 小天守南東隅



『名古屋城改築工程写真 其一』 9-2 小天守南西隅

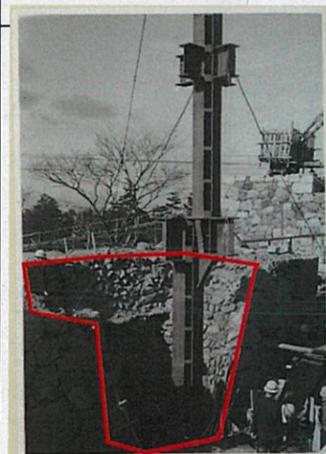


写真106 小天守北西隅

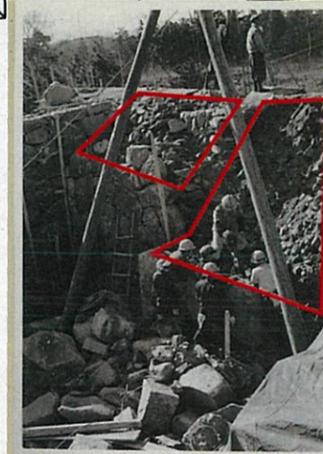


写真79 小天守南西隅

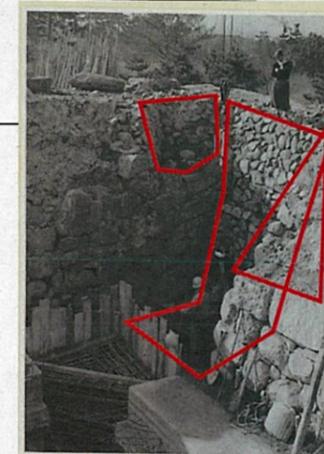


写真80 小天守南西隅

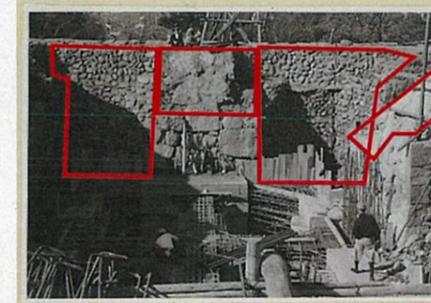


写真65 小天守西面

※写真出典は特記無き限り
『名古屋城再建の記録』名古屋城総合事務所蔵
一部『名古屋城改築工程写真 其一』名古屋城総合事務所蔵

穴蔵石垣の昭和27年~34年の積直しの履歴

昭和32~34年SRC天守閣再建工事で、天守台内部に仮設土留め構築物が残存している可能性のある部分



写真89 大天守北面(東側)

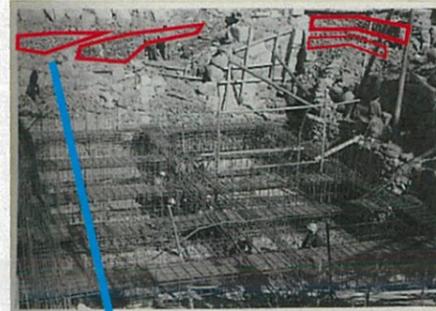


写真87
大天守北東隅

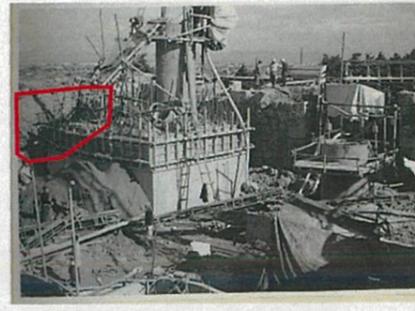


写真61 大天守北東隅

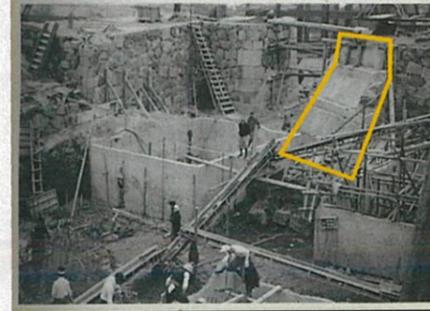


写真85
大天守南東隅

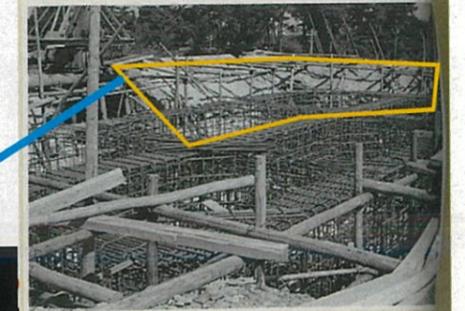


写真66 小天守北東隅

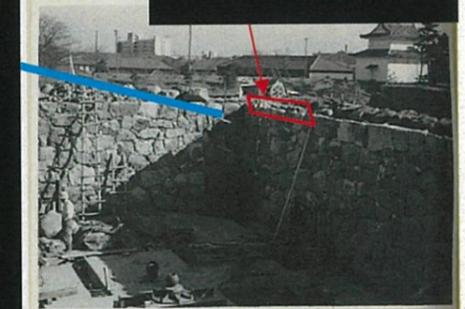


写真82 小天守南東隅

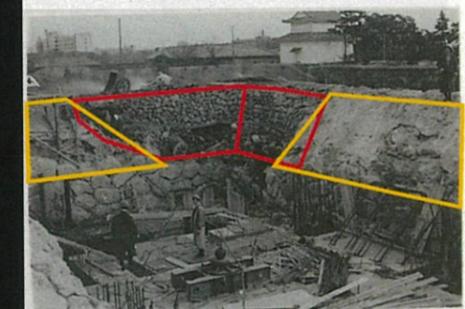
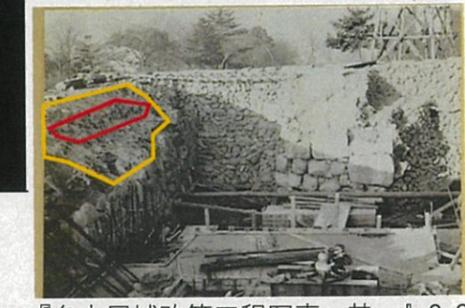


写真81 小天守南東隅



『名古屋城改築工程写真 其一』9-2
小天守南西隅

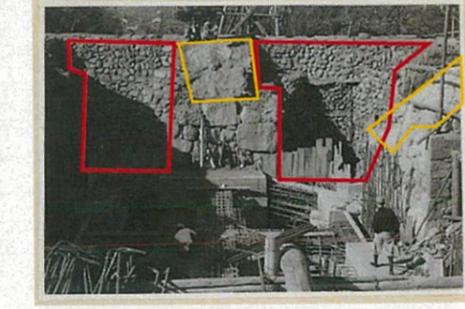


写真65 小天守西面

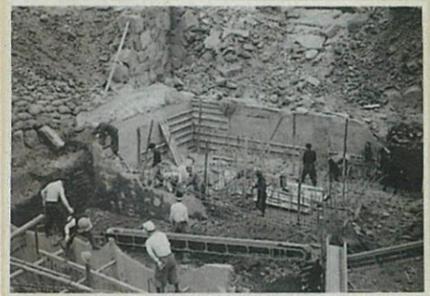


写真83 大天守北東隅



写真60 大天守北面(西側)

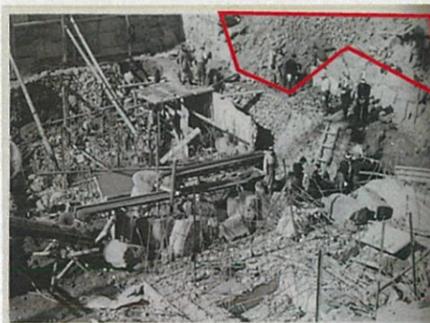


写真84 大天守北西隅

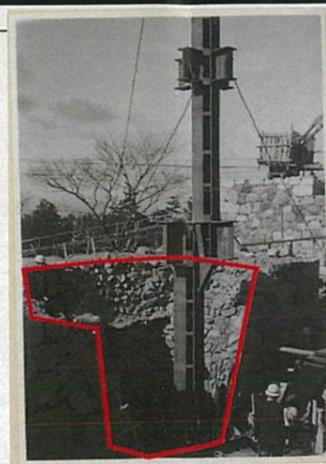


写真106 小天守北西隅

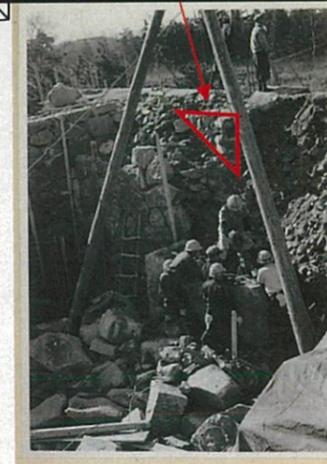


写真79 小天守南西隅

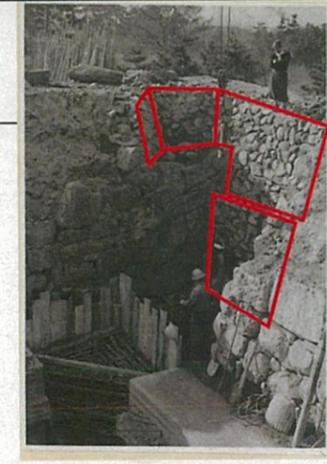


写真80 小天守南西隅

※写真出典は特記無き限り
『名古屋城再建の記録』名古屋城総合事務所蔵
一部『名古屋城改築工程写真 其一』名古屋城総合事務所蔵

■ 調査位置の履歴

